

防災教育イベント「まびっこカエルキャラバン」の実施

一般社団法人岡山次世代スクール協会

活動の目的

平成30年7月西日本豪雨の被災地でもある倉敷市真備町において、防災教育イベントとして地域に定着させ、豪雨災害や地震等の大規模災害への防災意識の啓蒙と備えをしていく。

活動の内容及び経過

- 令和元年9月 NPO 法人プラスアーツ代表 永田宏和氏講演会を開催
NPO 法人プラスアーツは阪神淡路大震災をきっかけに全国で防災体験プログラム「イザ！カエルキャラバン」を主催しており、代表の永田宏和氏より、「楽しみながら学べる新しい防災の形」と題し、倉敷市真備公民館にて、そのノウハウや地域活動の重要性について講演をいただいた。
- 令和元年10月 「まびっこカエルキャラバン」研修会
11月に本番を迎える「まびっこカエルキャラバン」に向けて、倉敷市真備公民館にて、真備の中学生団体「MSB30」を含む、ボランティアスタッフ30名の研修会を開催。
NPO 法人プラスアーツ、NPO 法人いーなプロジェクトから、実際のイベントでも使われる資材を購入または借り受け、応急手当やジャッキアップなどの防災体験プログラムの実施ノウハウを学ぶ。
- 令和元年11月 「まびっこカエルキャラバン」開催
NPO 法人プラスアーツ、NPO 法人いーなプロジェクト、倉敷市教育委員会の協力のもと、倉敷市真備町のマリービーふれあいセンターにて「まびっこカエルキャラバン」を開催。参加者約150名を集める。
イベント内では「水消火器的あてゲーム」「ジャッキアップゲーム」「毛布担架タイムトライアル」「おうちの防災グッズなあに？クイズ」「応急手当ワークショップ」「BOSAI 図工室」「水害着せ替えクイズ」「防災カードゲーム」などの防災体験プログラムとおもちゃの交換会「かえっこバザール」を開催。
主に未就学児、小学生とその保護者を中心とした家族連れと一緒に防災体験プログラムを体験する姿が多く見られた。
- 令和2年1月 報告会開催
中学生ボランティアスタッフによる「まびっこカエルキャラバン」報告会を岡山市内で開催。30名ほどが参加し、今年度実施分の振り返りを行った。

活動の成果・効果

- 「まびっこカエルキャラバン」当日の参加者が約150名となるなど、初めての開催としては多くの参加者に会場



いただき、防災体験プログラムを多く体験していただくことができた。

- ボランティアスタッフ55名のうち96.7%が真備町や小田川流域地域への興味関心が高まったと回答。地域に根差した活動としての足掛かりを得る結果となった。

今後の課題と問題点

- 開催時期がほかの多くのイベントと同じ日になってしまったこともあり、ボランティアスタッフや参加者の確保で苦労したことがあった。
- 今後、継続的に地域に根差したイベントにしていくためには、地域からの参加者をさらに増やし、文化としていく必要があるため、準備期間や実施規模、予算規模などを含め、大きな負担がなく、継続しやすいスキームを作っていく必要がある。

- 代表者：安永吉光 ●所在地：倉敷市西中新田
- TEL：086-434-8088
- E-MAIL：okayama.next.education@gmail.com
- URL：https://okayama-next-education.themedia.jp/
- 設立年：2019年 ●メンバー数：6名